短大だより

〔発行〕
東北女子短期大学
弘前市上瓦ヶ町25
TEL ㉜ 6151
〔印刷所〕
有限会社新和印刷

新講義棟完成
～学びがさらに広がる～

新講義棟「平成館」が9月に竣工し、後期から授業で使用されています。

北大通りに面したガラス張りのモダンで開放的な外観は、未来の地域を担う新しい東北女子短期大学を強く印象づけています。

平成館のコンセプト**「新しい学び環境の創出」**のとおり、コミュニケーションを重視しました。

創造力あふれる講義・演習を実現する**「アクティビティスペース」**をはじめ、模擬保育や模擬授業の利用を想定した**「ロールプレイ（疑似体験）ルーム」**、机上の液晶モニタに多様な教材メディアを映し、既存授業へのICT活用をイメージした**「メディアルーム」**、オールステンレスの調理台やタブレット端末と反射型プロジェクタによる本学独自の映像投影システムを導入した**調理実習室**、4色に塗り分けられたポップな印象の**器楽演習室**、中央のパーティションを開放すると108人まで収容できる**分割式一般講義室**など、コンパクトで機能的な教育環境を凝縮した講義棟です。

通常の授業・演習・実験などのほか、課外授業、公開講座など様々なシーンで使用されることを想定しています。

随所に遊び心をちりばめ、誰もが心地良さを感じながら学べる環境が瓦ヶ町キャンパスに加わりました。

新講義棟「平成館」
渡り廊下をぬけるとモダンな空間が広がる

アクティビティスペースで公開講座

最新設備の調理実習室

ICT活用の授業ができるメディアルーム

ロールプレイルームで遊ぶ子どもたち

多様な学習形態が可能な一般講義室

静かで集中できる器楽演習室

平成28年度学園祭
～未来へはばたく力を糧に～

10月22日・23日に「翼～未来へ向かってはばたこう～」をテーマに、短大・栄養・コンピュータ専門学校3校合同の学園祭が開催されました。今年も各科による展示部門、食堂・喫茶部門、販売部門のほか、文化部の展示・ステージ発表部門、特別企画があり、学内は大いに賑わいました。

今年の目玉は特別企画で、地元のアイドルグループ「アルプスおとめ」をお招きしてステージを企画しました。これまで以上に、たくさんの地元地域の方々に来ていただきたいとの思いから実現したものです。元気いっぱいのステージに子どもから大人まで楽しんでいただき、会場は大いに盛り上がりました。

2日間に渡る一般公開では、各科各校趣向を凝らした展示や喫茶、食堂を出店し大盛況でした。特に各部門リーダーの学生の皆さんが発揮した1・2年生をまとめ引っ張っていく力が一致結束したからだと感謝しています。1年生の皆さんには2年生の意志を引き継いで欲しいと願っております。

学校行事として最も大きな学園祭を無事に終えることができ、感無量です。私たちは多くの人たちに支えられながら、未来にはばたく力を感じることができました。

ご協力いただきました先生方や地域の皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

学園祭実行委員長
学友会会長　木村　星良
（生活科2年）

〔学園祭写真は4ページに掲載〕

学所長感

自分の学びを礎に前進を

今村吉彦

国民の三大義務とは何かと問われれば、それは「教育の義務」「勤労の義務」「納税の義務」の三つですが、教育の義務は子どもに普通教育（義務教育）を受けさせなければならないという親の義務であることについては意外と知られていないかもしれません。また、他の国々においては勤労の義務の代わりに「国防の義務」が示されていることが多いとも聞いています。

戦後間もない1947年に制定された6・3・3制（小学校6年、中学校3年、高校3年）はその枠組みが変更されることなく現在まで継続されています。最近になって子どもの生理的・心理的発達段階に合わないなどの指摘から見直しの議論が続いていますが、国民的な理解には至らないことや制度変更に伴う多大なコスト増の問題等々まだまだ難しい課題を残しているようです。

日本における教育は、システムという面では江戸時代の武士階級向けの藩校や庶民層のための寺子屋などの読み書きそろばん及び実用的な技能を学ぶ学習機関がきちんとした形で存立していたこともあり、現代に至るまで体系だった取り組みが行われてきた印象を受けます。特に有名なのは識字率（文字の読み書きができ、理解できること）の高さであり、これは江戸時代から数百年にわたって世界一であるという研究結果もあるそうです。

教育が国の礎をつくり、その国の力を左右するものであることは自明の理であると思います。また、大学が教育によりその時代に即応した人材を育成し、その時代の文化を形成していくことができる人材を送り出していくことも、形こそ異なるかもしれませんが、その本質に変わりはないような気がします。

また、複雑に急変しつづける現代においては、同じ問いであっても答えが変わってくることがあるかもしれません。今の答えがいつの時代でも正解であるとは限りません。自分が学びとった知識を自由自在に活用して、さまざまな可能性を見つけだすのが重要になっていると考えます。

今マスコミでは、ローカリズムとグローバリズムが対立要素として紹介されていますが、自分のことを良く知り、世界を良く知ろうとアンテナを向けて分析を怠らなければ、急激な変化に戸惑うことなく、前進できると思います。

先生方の研究論文等掲載の『紀要』と『年報』が発行されました。

第五十五号　紀要掲載論文

《研究題目と執筆者》

道徳の規準　道徳を構成するもの～デュルケム社会学を中心に～　西　敏郎

柴田式モンペの研究（第1報）　宮野洋子

パナソニックの企業分析（V）―M&Aの成長戦略―　兼平拓道

スムーズな学びの接続についての考察―プロジェクト保育から考える―　兼平友子

栄養士養成課程における校外実習の事前事後指導についての検討　中島里美・柳町悟司・下山春香・宮地博子・安田智子・阿部直子・真野由紀子・北山育子

次世代に伝え継ぐ青森県の家庭料理（第1報）―主食について―　澤田千晴・安田智子・北山育子

黒石市における地域医療の現状と課題に関する一考察　小野美沙子

栄養士養成課程学生における朝食の欠食状況と食事パターンについて　宮地博子・下山春香・中島里美・真野由紀子

第六号　年報

《題目と執筆者》

Ⅰ．研究・教育の活動報告

〈研究の報告〉

STEM教育の現状と展望について　小山尊徳

今日の学校教育におけるフレーベル教育思想―学習指導要領から考える―　兼平友子

ブラームス歌曲「アルトのための2つの歌op91」についてリサイタルにて演奏する楽曲の報告　福士亜友子

〈教育の実践に関する報告〉

「リズム表現　和太鼓」を特設して～日本音楽の伝統的な稽古法「口唱法」による実践の報告～　西谷紀久子・荘司康平

イタリア料理の学びと実践Terra Promessa Hirosaki 2016に参加して　真野由紀子・中島里美

保育科学生と地域の親子との交流～ヒロスクエア・クリスマスフェスティバルを通して～　島内智秋

年少児の鍵盤ハーモニカ練習例　小林由美子

保育・教育実習における本学学生の体育的活動への取り組み　田中　恵

青森県特有の不登校要因の一仮説　津軽人気質と子どもの肥満傾向に着目して　佐々木典彰

地域文化である津軽こぎん刺しの伝承について～実習を通して～　町田秀子

「言葉」の演習における指導の試み～多人数における効果的な演習方法を探る～　福士純子

食育フェスティバルでの食育活動　吉村小百合

Ⅱ．自由報告

南太平洋ソロモン諸島の相互扶助の現状　ワントク制度からみた家族・社会・教育　佐藤睦子

Ⅲ．公開講座・出前講座の報告

―北国の暮らしの中で生まれたうた―『津軽の旋律（木村繁編作曲）』を歌いましょう　西谷紀久子・福士亜友子

マザリーズってなあに？～0・1・2歳の保育・子育てを楽しく♪～　島内智秋

「おいしい津軽のおかず」を作りましょう⑩・⑪　北山育子

絵本と声の力～言葉の響き合いを味わいましょう～　笹森雅子

すばらしき絵本の世界～あの絵本はなぜ売れたのか？を科学する～　西　敏郎

「一目刺し」をしてみませんか　宮野洋子

CGでプリント布地をつくってみませんか～チェック柄編～　宮野洋子

Let's Try パーティーメニューも手作りで☆　安田智子・中島里美

高等学校父母と教師の会・母親委員会の研修会として　宮地博子

和徳小学校3学年　親子レクリエーション～親子でまきまき!!飾り巻作り～　吉村小百合・安田智子

’16公開講座（25）

今年度は全10講座が行われ、延べ192名の方々にご参加いただきました

テーマ	講　師	月　日
絵本と声の力 ～言葉の響き合いを味わいましょう～	笹森雅子	6/25(土)
すばらしき絵本の世界 ～あの絵本はなぜ売れたのか？を科学する～	西　敏郎	
「一目刺し」をしてみませんか	宮野洋子	7/9(土) 11/26(土)
CGでプリント布地をつくってみませんか ～チェック柄編～		7/23(土) 12/10(土)
「おいしい津軽のおかず」を作りましょう⑩・⑪	北山育子・中島里美 下山春香・宮地博子	7/24(日) 12/4(日)
―北国の暮らしの中で生まれたうた― 『津軽の旋律（木村繁編作曲）』を歌いましょう	西谷紀久子・福士亜友子	11/19(土)
マザリーズってなあに？ ～0・1・2歳の保育・子育てを楽しく♪～	島内智秋	11/20(日)

キャリア支援

今春卒業生の進路は、免許・資格を活かした専門職への内定が好調で、例年より早く就職が決定しております。

1年生も後期開講科目の「キャリア基礎演習」で、社会人としての心構えや職業の理解を学び、徐々に就職活動への姿勢が整ってきたようです。

☆先輩のアドバイス

「キャリア基礎演習」の「職業の理解」という単元では11月1日と8日に卒業生を招いて、仕事をする際の社会人の心構えを話していただきました。

栄養士、保育教諭、保育士など各業種で活躍している卒業生から、一日の仕事の流れ、仕事を通して学んだこと、学生時代にやるべきことなど就職活動に役立つアドバイスをたくさんいただきました。

後輩にエールを送る卒業生

11月29日の「社会人になるにあたって」という単元では、本学を卒業して幼児教育施設専門の研修事業を主催しているEggコミュニケーションの藤田みよこさんに外部講師として来学していただきました。保育園の現場でのお話を交えながらコミュニケーションとマナーについて貴重なお話とアドバイスをいただきました。

「マナーは社会人の基本」

☆内定した2年生から次のようなメッセージが寄せられました。

自分の長所を強みに

山本夏乃
（生活科2年）

私は4月の終わりから就職活動を始め、6月に紅屋商事株式会社から栄養士として内定を頂きました。入社試験にあったプレゼンテーションの資料作りに奮闘し、将来やりたい仕事に就いている自分を想像し、無我夢中で必死に取り組んだ1か月でした。

就職活動では、自分の長所を強みに行動することが大切です。1年生の皆さんもこれから頑張ってください。

すぐに行動に移す

新谷玲佳
（保育科2年）

私は仙台の保育園から内定をいただきました。2年生の6月頃から学校に届いた求人票を見たり、先生に相談したりして就職活動を開始しました。

就職活動ではいろいろと悩むと思いますが、少しでも気になった園があれば連絡して見学に行くなどして、すぐに行動に移すことが大切です。1年生の皆さんも積極的に行動して就職活動に頑張って取り組んでください。

あんな本　こんな本

野呂芽衣花
（生活科2年）

私が一番よく読む本のジャンルは推理小説です。中学生の頃、図書室にあったシャーロック・ホームズのシリーズがふと気になり、難しいイメージがあったジャンルでしたが読んでみました。

読んでみると思っていたよりも分かりやすく、不思議な事件がおこると主人公のシャーロック・ホームズは実際に現場に足を運び、自分の持つ知識と鋭い観察眼で犯人像をあっという間に導き出します。更にそこから疑問に思ったこと等を調べて推理を進めていき、犯人まで辿り着き事件を解決します。

推理小説は難しいと思っている人は、是非チャレンジしてみてください。

読んでいてどう推理すればそのような結果になるのか最初はわからなくても、ホームズの推理の解説で理解することができるようになります。

シリーズ ある日の授業

決められたことを確実に

生活科2年「生化学実験」　担当　柳町悟司

生化学実験では、学生全員が同じ実験を行いますが、同じ結果が出るとは限りません。これは料理と似ています。複数の人が同じレシピを見て、同じ食材を使って料理を作っても、全ての料理が同じ味になるとは限りません。熟練した料理人と素人では、料理の味に差が出るように、実験にも上手と下手（成功と失敗）があります。

料理の成功失敗は、味の美味しい不味いで分かるため、直感的にできますが、実験はそうはいかないので、どのような結果が成功かを教え、その決められた結果が出せるように学生は努力します。

本来、実験はどのような結果になるか分からないことに対して行うものですが、その前に決められた実験で決められた結果が出せる状態になる必要があるのです。これも料理と似ているように思います。見習いの料理人が、一定の手順で調理を行い、一定の味を出せるようになるまで、何度も同じ料理に取り組むように。

実験を通して、料理等多くのことにも当てはまる「決められたことを確実にできることの大切さ」を伝えたいと願い、日々授業を行っています。

授業風景

「食品加工学実習」生活科２年
ウインナーソーセージ作り

「言葉（2）」保育科２年
“誉める”ことをめぐる問題

「学習サポート（音楽）」保育科１年
弾き歌い伴奏法、歌唱法のレッスン

「食品衛生学実験」生活科１年
大腸菌群の性質についての培養実験

「津軽を探る」生活科１年
津軽の言葉（津軽弁）

「保育実践演習」保育科２年
劇とミュージカルの集い　～アナと雪の女王～

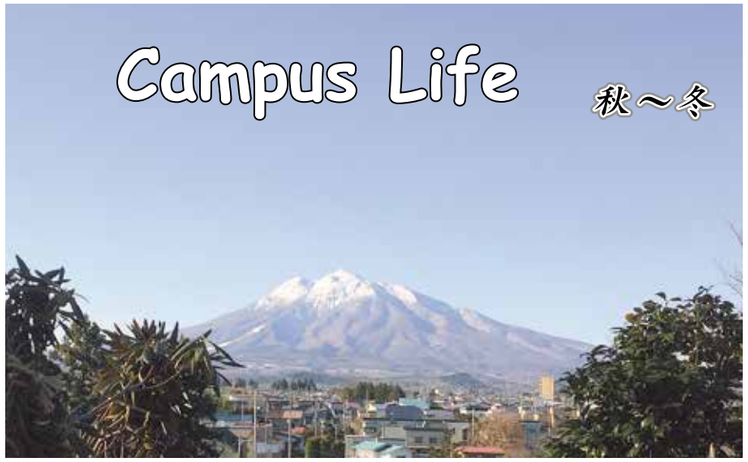
公開講座（11月19日～12月10日）

「津軽の旋律」を歌いましょう

マザリーズってなあに？

「おいしい津軽のおかず」を作りましょう

「一目刺し」をしてみませんか



学生生活あれこれ

軽音楽部
～**クリスマスライブ**～

第67回東北地区大学体育大会
バレーボール競技（11月5・6日）

秀芝寮　～**クリスマス会**～

学友会送別会

食育フェスティバル　生活科学生
「**ラムネ菓子をつくろう**」（ヒロロ３階）

クリスマス☆フェスティバル　保育科学生
「**クリスマスの制作遊び**」（ヒロロ３階）

学園祭

特別企画

前後夜祭　体育部模擬店

生活科展示「輝く！青森力」
体験コーナー「白玉団子をつくろう！」

生活科食堂「Eat Land」
プーさんのハチミツカレー・ミッキーのパンケーキ

保育科展示「おもちゃの国」
「ジェシーのまとあて」何点とれるかな？

保育科喫茶「Cafe☆OCEAN」
うみの世界でランチはいかが？

ステージ発表：三味線部「秋の和音」　箏曲部「富士」

学友会

新役員決まる

平成28年度学友会役員の任期満了にともない11月21日の選挙で左記のように新役員が選出されました。

会　長　常田　咲季（生活科）
副会長　木村　幸（生活科）
副会長　小田桐百佳（保育科）
総会議長　諏訪　実久（生活科）
副総会議長　三橋　初音（保育科）
代議員長　和田　眞瑚（生活科）
副代議員長　福士ひかり（保育科）

会長より任命された執行委員、ならびに文化部及び体育部の部長会議において推薦された部会長、副部会長は次の通りです。

会計　谷坂美加子（生活科）
　　吉田ひな乃（保育科）
記録　成田　知夏（生活科）
　　桜庭　七緒（保育科）
企画　木立　樺希（生活科）
　　齋藤優伽奈（保育科）
庶務　櫻田亜里沙（生活科）
　　裏　あかり（保育科）
文化部長　佐々木志歩（生活科）
副文化部長　竹村　悠乃（保育科）
体育部長　釣　香沙実（保育科）
副体育部長　片岡　穂美（生活科）

（後列）左から　吉田ひな乃・櫻田亜里沙・木立樺希・齋藤優伽奈・片岡穂美
（中列）左から　谷坂美加子・裏あかり・成田知夏・桜庭七緒・釣香沙実・佐々木志歩・竹村悠乃
（前列）左から　福士ひかり・和田眞瑚・木村幸・常田咲季・小田桐百佳・諏訪実久・三橋初音

新会長
抱負を語る

学友会会長
常田咲季
（生活科１年）

期待に胸を躍らせて入学してから早くも1年が経とうとしています。その間、様々な行事に参加しているうちに、私も運営に携わりたいという気持ちが高まり、このほど学友会会長に立候補させていただきました。

これまで、たくさんの先輩方が築き上げてきた伝統を守りつつも、新しいことに挑戦していけるような学友会にしたいと考えています。私たち新学友会役員と執行委員は、これから一致団結して、学友会のみなさんと共に学校全体を盛り上げていきたいと思います。

多くの学生や先生方のご助言、ご協力を励みにして誠心誠意、取り組んでまいります。どうか温かく応援していただければと思います。よろしくお願いいたします。

文化部

文化部を振り返ってみると、各部・同好会のメンバーみんなが一生懸命活動に取り組むことができたと思います。

4月の新入生歓迎会では、各部の紹介を動画で流した後に新入生に実際に部活動の体験をしてもらうなど工夫をしました。その甲斐あってか茶道部、心理研究部が復活し部員が増えるなど学生一人ひとりの活躍の場が広がりました。

華道部は、「第27回青森地区学生いけばな競技会」で1名準優勝となりました。

写真部は5月に行われた「ツツジ祭りフォトコンテスト」で惜しくも賞をとることはできませんでしたが、部員全員の写真がフォトコンテストのホームページに載りました。

文化部の一番のメインである学園祭のステージ発表や展示では、日頃の練習や活動の成果を発揮し、とても素晴らしいものとなりました。成功できたのは、文化部全員が力を合わせ、一人ひとりが自分の役割を果たしてくれたおかげだと思っています。

文化部長
保育科2年　蒔苗成穂

学園祭軽音楽部の発表
前列右側が蒔苗さん

体育部

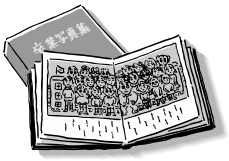
体育部長として活動してきた中で、特に印象に残っているのは学園祭での模擬店運営です。学生の皆さんに気軽に買ってもらえて、おいしく食べてもらうことを一番に考え、昨年の反省を参考に計画を立てました。今年は部員数が少なく、例年通り模擬店を運営できるか不安もありましたが、部員同士の交流の場になればと、部や学年、科も関係なくグループを作り臨みました。

調理から販売までとても大変そうでしたが、それぞれ違う部に所属する部員が協力し、楽しそうに作業をしている姿を何度も目にし、体育部が一つにまとまったように感じとても嬉しかったです。模擬店を無事に運営することができたのも、いつも支えてくれた副体育部長や顧問の先生、元気で協力的な体育部員のおかげだと改めて思いました。

模擬店の仲間と　前列右側が佐藤さん

最後に、部員数が年々減少傾向にある体育部ですが、これからの発展を願い、後輩に繋ぎたいと思います。

体育部長
保育科2年　佐藤亜華音



思い出の学生生活

やりがいを感じた教育実習

生活科2年　伊藤　日奈子

私は、栄養士課程と教職課程の2つを履修しました。そのため短大生活は、私が想像していたよりも目まぐるしい日々でした。

その中で私が特に成長できたと感じたのは、小学校での教育実習でした。

1年生のクラスに配属され、初めは児童と関わっていけるのか不安でしたが、積極的に話しかけていくうちに打ち解けてきました。

最終日の「旬の野菜を知ろう」をテーマに行った研究授業では、教材研究や指導案作成など大変苦労し、本番の授業はとても緊張しました。けれども児童と一緒に授業を進めることができたと思います。授業終了後に児童が「楽しかった」と話してくれました。

この実習を通して教員は苦労が多いが、とてもやりがいのある仕事だと実感しました。

春からは、この経験を生かして頑張りたいと思っています。

緊張した研究授業

短大生活と岩木山

保育科2年　三上　真由

幼い頃から岩木山が好きな私は、いつか岩木山に登ってその魅力をもっと他の人に知ってもらいたいと思い、ACアワーで「岩木山に登ろう！」という企画を立ち上げました。

事前にヴィラ柴田の管理人、相馬さんからアドバイスをいただいたり、登頂時に掲げる旗を1年生が作ってくれたりと、準備の段階から期待に胸を膨らませました。残念ながら当日は悪天候のため、登頂は断念しましたが、百沢地区の美しい自然散策とヴィラ柴田で作った三色丼の味は一番の思い出となりました。

また先頃、写真部でささやかな展示会を開催し、そのポスターに私が撮影した岩木山の写真が掲載されました。思いがけない出来事でしたが、私の岩木山に対する思いを皆さんに知っていただく機会となりました。この4月からは、保育士として地元の子ども達と故郷の素晴らしさを分かち合いながら頑張っていくつもりです。

準備した旗で記念撮影
左奥が三上さん

保育の道へ進んで良かった!!

保育科2年　佐藤　しおり

2年間の短大生活は保育に関する知識や技術だけではなく、保育士という仕事のすばらしさ、やりがいを教えてくれました。

入学当初の私は進路に悩み、心に迷いがありました。けれども、その気持ちが一変したのが1年生の時の保育観察実習です。子どもの頃、大好きだった先生に温かくご指導いただき、子ども達も「しおり先生」と素直に慕ってきてくれたことで、保育士になりたいと強く願うようになりました。それからはどの講義も楽しく、友人と保育士としての将来を語り合い、充実した毎日を過ごすようになりました。今では心から保育の道に進んで良かったと思い、クラスの仲間と一緒に過ごせたことに感謝しています。

春から関東の保育園で保育士として歩み出すのを今から楽しみにしています。短大での学びを最大限に生かして、良いスタートを切りたいと思います。

クラスの仲間と楽しいひとときｰ　真ん中が佐藤さん

イタリア料理をシェフから学んで

生活科2年　高橋　穂乃佳

私の学生生活での一番の思い出は、青森県出身でイタリア料理シェフ中田淳さんから料理を学んだことです。

7月10日に開催された「出張！イルヴィスキオ」に「津軽食材活かし隊」としてイベント活動をしました。

このイベントで提供される料理の中から、「ラタトゥイユ」「エゾ鹿のミートソース」「バジルと松の実のペースト」で使用する食材の切り方、仕込みの仕方等、プロの技を教えて頂きました。当日は、お客様に提供するサービスの仕方も教えて頂き、シェフと一緒に厨房に入ることができたことは貴重な体験になりました。

一緒に活動したメンバーの友情も深まり、学園祭ではイベント活動で学んだラタトゥイユを実演し、沢山のお客様に提供することができました。

シェフの技は・・・。
真ん中が高橋さん

ACアワー活動報告会 in 新講義棟平成館

2月14日午後、新講義棟平成館でACアワー活動報告会が開かれ、11テーマの発表などが行われました。

「書道パフォーマンス」は、昨年も行われた大人気の活動です。当初、屋外で行う予定でしたが、あいにくの悪天候のため、教室で行われました。それでも多くの観衆が集まり、メンバー一同の挨拶の後、保育科1年生による太鼓演奏のメロディーに合わせて、黒紙にピンクや白の鮮やかな文字が描かれ始めました。数分後に完成すると、メンバーは観衆の拍手喝采を受け感激していました。

「書道パフォーマンス」大きな筆で「百花繚乱」

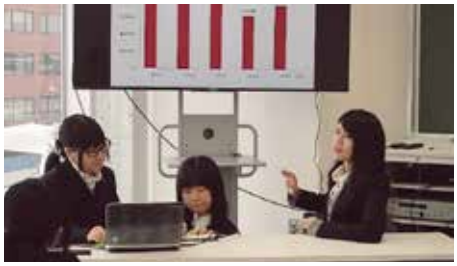
また「今話題の料理」では、今話題の料理とその「料理動画」を作ってみようということで、今回はレインボーベーグルに挑戦しました。学生によるプレゼンテーションの後、虹色の生地を重ね合わせるところから始め、カットして、ねじって、ゆでて、焼いて、最後実食まで行いました。

「今話題の料理」さあ作ってみましょう!!

参加者からは「おいしい！」とカラフルでありながら素朴な味わいに笑みがこぼれていました。

最後に「プレゼン塾開塾!!」では、身近なテーマでプレゼンテーション技術を磨き、その成果が発表されました。発表後「話を構成する難しさを実感した」「先生の気持ちがわかった」などの感想があり、短期間の取り組みでしたが、大きな学びがあったようです。

その他、株、キムチ、ドラえもん、ミュージアム、アロマテラピーについての発表など、盛りだくさんでした。


「東短STOCKリーグ」ある企業の売上高を説明中

ACアワー活動を始めてから4年目。これまで約50テーマの活動が行われました。時間の確保など課題は多くありますが、今後、ACアワーは進化する予定です。現時点では、楽しむことが主な目的になっていますが、それに加えて探究の側面も少しずつ広げ、単に楽しかっただけでは終わらない、より充実感や達成感を感じられる活動に展開できればと考えております。

担当　佐々木典彰

弘前とわたし (19)

保育科1年　畠山　侑

私は、秋田県立十和田高校から、東北女子短大に入学しました。本学を受験したきっかけは、高校からの憧れの先輩が在籍していたからです。先輩と同じ学校、寮に入ることの嬉しさを感じながら弘前にやってきました。

弘前での暮らしに慣れてきた頃、趣味であるランニングを始めました。弘前を探索しながら走っていて、弘前はとても活気にあふれている町だと感じました。今ではお馴染みのコースとなっている弘前城周辺には、約60年続くせんべい屋さんや、歴史を感じさせる染工房があり、他にも興味が惹かれる建物が多くあります。また、季節問わず多くの観光客が訪れていることに驚きました。

弘前城リレーマラソンで入賞　左が畠山さん

そして弘前公園内の立派な桜の木や色鮮やかに紅葉した木々、内堀に咲く蓮などを眺めながら走ることができ、弘前に居ることに誇りを感じます。

このような魅力ある弘前で、保育士になるための知識や技術を学べることに感謝しながら、これからの短大生活を精一杯努力していきたいと思います。

短大・専門学校同窓会
「あれから50年　保育科　そして今」一回生の歩み

学園祭期間中の10月22日（土）11時～12時、音楽室で昭和41年度卒業の保育科一回生よりお話をいただきました。卒業後大半が保育園や幼稚園に就職し、夢中で頑張ってきたこと、そして今ようやく各自が生き方を振り返り、語り合える場としてクラス会を行っていると話してくださいました。

後半は、学生時代、音楽の指導を受けた山﨑先生と一緒に校歌等を合唱し、それから西谷先生はじめ新旧保育科の先生方からメッセージをいただき、会場が盛り上がったひと時でした。

一回生の皆さん、これからもお元気でお過ごし下さい。

弘前支部長　木村守克

保育科一回生のみなさん

編集後記

昨年9月には、待ち望んでいた講義棟が完成しました。最新設備が導入され、コンパクトでありながら居心地のよい空間になりました。学生の教育だけでなく、地域に開かれた学びの場としても活用しています。

本号も学園祭、ACアワー、地域の人々との交流など、学生のエネルギッシュな活躍をお伝えします。

弘前はようやく春らしくなり、2年間学業に励んだ学生たちも巣立っていきます。

短大だより編集委員会